

# まるで万葉植物の テーマパーク!!

都会の森を思わせる広大な敷地（約24ha）の長居植物園では、万葉集に登場する植物をおよそ100種類も間近で見ることができます。

40周年を迎えた今年、その記念行事の三環として、それぞれに植物名の表示はもちろん関係する万葉歌を掲示し、「花と緑と自然の情報センター」内には万葉集に関する書籍コーナーも設置。

万葉集の世界にしつとりと浸りましょう！  
万葉植物の宝庫・長居植物園でココロもカラダも

**ユリ**  
道の辺の草深ゆりの  
花笑みに  
笑みしがからに妻と言ふべしや  
【現代の言葉では】道ばたの草のみのゆりの花、そのつぼみがほころぶように、あたしがちょっとほえんだというそれだけで妻よばりなんて、もつてのほかよ  
(卷七・二五七・雜歌 作者不詳)

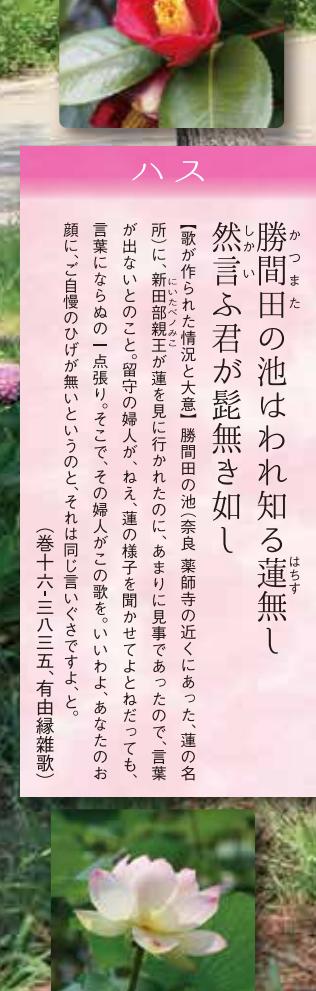
**センダン**  
珠に貫く棟を宅に植ゑたらば  
山ほどとざす離れず来むかも  
【現代の言葉では】その実をフレッシュにつなげる棟をうちの庭に植えたなら、まだ里では鳴かない山ほどとざすがここへはひつきりなしに鳴き渡っててくれるでしょうね。  
(卷十七・三九〇・大伴書持)



**ツバキ**  
川の上の列々椿  
つらつらに  
見れども飽かず巨勢の春野は  
はるの  
秋の野に咲きたる花を  
折りかき數ふれば七種の花  
萩の花 尾花葛花 翠麦の花  
をみなえしまた藤袴 朝白の花 其の一  
其の二  
山上臣憶良 秋の野の花を詠む歌二首  
（巻八・五三七・五三八・秋雜歌）



**フジバカマ**  
山上臣憶良 秋の野の花を詠む歌二首  
萩の花 尾花葛花 翠麦の花  
をみなえしまた藤袴 朝白の花 其の一  
其の二  
山上臣憶良 秋の野に咲きたる花を  
折りかき數ふれば七種の花  
萩の花 尾花葛花 翠麦の花  
をみなえしまた藤袴 朝白の花 其の二  
（巻一・五六・雜歌 春日咸考）



**ハス**  
勝間田の池はわれ知る蓮無し  
然言ふ君が髪無き如し  
【歌が作られた情況と大意】勝間田の池(奈良 藥師寺の近くにあった、蓮の名所に、新田部親王が蓮を見に行かれたのに、あまりに見事であったので、言葉が出ないということ。留守の婦人が、ねえ、蓮の様子を聞かせてよどねだつても、言葉にならぬの一点張り。そこで、その婦人がこの歌を。いいわよ、あなたの顔にいじ自慢のひげが無いというのと、それは同じ言いぐさですよ。)

